

製品名: MCT8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13743**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	SLC16A2
別名	SLC16A2; MCT8; XPCT; Monocarboxylate transporter 8; MCT 8; Monocarboxylate transporter 7; MCT 7; Solute carrier family 16 member 2; X-linked PEST-containing transporter
遺伝子 ID	6567.0
SwissProt ID	P36021
免疫原	抗血清はヒト SLC16A2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 112-161

背景

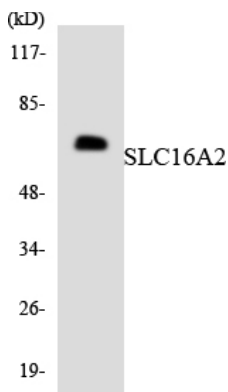
この遺伝子は、甲状腺ホルモンのトランスポーターとして機能する膜貫通タンパク質をコードしています。コードされているタンパ

物質は、チロキシン (T4)、トリヨードチロニン (T3)、逆トリヨードチロニン (rT3)、およびジヨードチロニン (T2) の細胞内輸送を促進します。この遺伝子は多くの組織で発現しており、中枢神経系の発達に重要な役割を果たしていると考えられます。この遺伝子の機能喪失変異は、男性では精神運動発達遅滞と関連していますが、女性では神経学的欠陥は見られず、より軽度の甲状腺機能不全の表現型を示します。この遺伝子は X 染色体不活性化を受けます。この遺伝子の変異は、アラン・ハーン・ダドリー症候群の原因です。[RefSeq 提供、2012 年 3 月]、疾患: SLC16A2 の欠陥は、モノカルボキシレートトランスポーター 8 欠損症 (MCT8 欠損症) [MIM:300523]の原因です。MCT8 欠損症は、X 連鎖性精神運動遅滞の重篤な形態と甲状腺ホルモン (TH) レベルの異常を併発する疾患です。甲状腺ホルモン欠乏症は、ホルモン合成および作用の欠陥によって引き起こされる場合もありますが、細胞内ホルモン輸送の欠陥とも関連しています。罹患者は、循環血中の 3 種類のヨードチロニンの相対濃度が異常な男児で、全般性発達遅滞、中枢性筋緊張低下、痙性四肢麻痺、ジストニア運動、回旋性眼振、視力および聴力障害などの重篤な神経学的異常を呈します。ヘテロ接合体の女性は、甲状腺機能の表現型が軽度で、神経学的異常は認められなかった。機能: 非常に活性が高く、特異的な甲状腺ホルモントランスポーター。チロキシン (T4)、トリヨードチロニン (T3)、逆トリヨードチロニン (rT3)、およびジヨードチロニンの細胞内取り込みを促進する。ロイシン、フェニルアラニン、トリプトファン、チロシンは輸送しない。類似性: 主要促進因子スーパーファミリーに属する。モノカルボキシレートトランスポーター (TC 2.A.1.13) ファミリー。組織特異性: 肝臓および心臓で高発現する。

研究分野

シグナル伝達; 成長因子/ホルモン; ホルモン; 神経科学; 内分泌系; 甲状腺軸

画像データ



SLC16A2 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。